

Cable Address:
IECENTER TOKYO

JAPANESE LANGUAGE INSTITUTE
INTERNATIONAL EDUCATION CENTER

Phone:
359-9621-6

21 Yotsuya 1-chome, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan

日本語研修所

March 20, 1973

To whom it may concern:

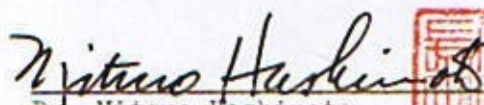
This is to certify that Mr. Le Cuong
(born on June 28, 1949)
has been officially enrolled in Japanese Language Institute for
an intensive study of Japanese.

Title of the course:

Completed: Now enrolled in: Period of study:

<input checked="" type="checkbox"/> Basic I	_____	Apr. 7, 1972 - June 20, 1972
<input checked="" type="checkbox"/> Basic II	_____	July 3, 1972 - Sep. 22, 1972
_____ Elementary	_____	(Specially promoted.)
<input checked="" type="checkbox"/> Intermediate	_____	Oct. 6, 1972 - Dec. 21, 1972
_____ Advanced	_____	-

Notes: Each course consists of 10 weeks with 15 hours of class
work a week. Classes are held Monday through Friday
from 2:40 p.m. to 5:30 p.m.


Dr. Mitsuo Hashimoto
Director
Japanese Language Institute



修了証書

国籍ベトナム

氏名レ・コン

あなたは日本語研修所
基礎一科(十週間)を修了
したのでこれを証します

昭和四十七年六月二十日

財団法人国際教育振興会

理事長 板橋 並治

日本語研修所

所長 橋本 光郎



THE JAPANESE LANGUAGE INSTITUTE
Certificate

This is to Certify that

Mr. Le Cuong

Has Successfully Completed

The Basic I Course

of this Institute

of The International Education Center

Tokyo, Japan

Chairman, Board of Trustees, JLI

Director, JLI

June 20, 1972

Date

修了証書

国籍ベトナム

氏名レ・クワン

あなたは日本語研修所
基礎科(十週間)を修了
したのでこれを証します

昭和四十七年九月二日

財団法人国際教育振興会

理事長 榎 井 浩

日本語研修所

所長

榎 井 浩



THE JAPANESE LANGUAGE INSTITUTE Certificate

This is to Certify that

Mr. Le Cuong

Has Successfully Completed

The Basic II Course

of this Institute

of The International Education Center

Tokyo, Japan

Chairman, Board of Trustees, JLI

Director, JLI

September 22, 1972

Date

修了証書

国籍ベトナム
氏名 レ・クワン

あなたは日本語研修所
中級科(十週間)を修了
したのでこれを証します

昭和四十七年十二月二十日

財団法人国際教育振興会

理事長 板橋 善治

日本語研修所

所長

橋本 光郎



THE JAPANESE LANGUAGE INSTITUTE Certificate

This is to Certify that

Mr. Le Cuong


Has Successfully Completed

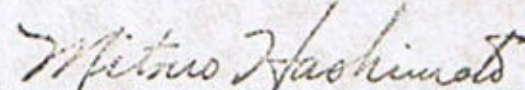
The Intermediate Course

of this Institute

of The International Education Center

Tokyo, Japan


Chairman, Board of Trustees, JLI


Director, JLI

December 21, 1972

Date

昭 52 証 第 76 号



卒業証明書

本籍 ベトナム

レ. 7 オ. /

昭和 1949 年 6 月 28 日生

上記の者は昭和 52 年 3 月 25 日 本学 文学部

教育 学科を卒業したことを証明いたします。

昭和 52 年 4 月 13 日

帝京大学長 冲 永 荘



成績証明書

8393

昭和 48年 4月 日 文学部教育学科入学
 昭和 年 月 日 同上 在学・卒業見込・卒業退学・除籍

教育学専攻

LE CUONG
 昭和 25年 6月 25日 生

授業科目	単位	成績	授業科目	単位	成績	授業科目	単位	成績
倫理学	4	可	教育評価	4	可	米文学史	4	
哲学	4		教育方法論	4	可	西洋文学	4	優
論理学	4	良	社会教育概論	4	良	英文法	4	可
国文学	4		教育社会学	4	良	英語科教育法	4	可
中国文学	4		教育工学	4	可	日本史概説	4	
地理学	4		教育行財政学	4	優	外国史概説	4	
日本史	4		学校教育	4	可	地理学概論	4	
西洋史	4	優	教育学演習 I	2	良	倫理学概論	4	
東洋史	4		教育学演習 II	2	良	政治学原論	4	
民族音楽	4		教育学演習 III	2	優	経済学原論	4	
			教育心理学演習 I	2	可	経済政策	4	
			教育心理学演習 II	2	良	日本経済論	4	
			卒業論文	6	優	地誌学	4	
						刑法各論	4	
						視族相続法	4	
						保険海商法	4	
						法哲学	4	
						行政法各論	4	
						労働法	4	
						地方自治論	4	
						比較憲法論	4	
						社会科教育法	4	
						国語学概論	4	
						国語音声学	4	
						文章表現演習	2	
						日本文学史 I	4	
						日本文学史 II	4	
						日本文学史 III	4	
						中国文学 I	4	
						書写	4	
						上代文学	4	
						中古文学	4	
						中世文学	4	
						近世文学	4	
						近代文学	4	
						現代文学	4	
						国語科教育法	4	
						一般教育科目		
						外国語科目		
						保健体育科目		
						専門教育科目		
						必修		
						選択		
						教科専門科目		
						合計		

単位および成績は上記の通りであることを証明する

合格

昭和 年 月 日

帝京大学長 冲 永 莊 一

高等学校教諭二級普通免許状

本籍地

グエトナム国

レ・クオン

昭和二十四年 六月十八日生

右の者に教育職員免許法第五条
の定めるところにより左記の教
科について高等学校教諭二級普
通免許状を授与する

記

教科 外国語（英語）

昭和五十二年 三月

東京都教育委員会

昭五二高二普第二八六一五号



授与条件

教育職員免許法第5条別表第1

基礎資格等

昭和52年3月25日				帝京大学 文学士			
昭和 年 月 日から		昭和 年 月 日から		昭和 年 月 日から		昭和 年 月 日まで	
昭和 年 月 日まで	大学特講生在籍	昭和 年 月 日まで		昭和 年 月 日まで		大学	

修得単位

総数	一般教育	教職専門	教科専門	その他
206	36	26	28	106

教育職員免許法第15条による書換

異動年月日

異動事由

新本籍

新氏名

昭和 年 月 日

東京都教育委員会

中学校教諭一級普通免許状

本籍地 グヱトナヘ国

レ・クオン

昭和シヤ四年六月シイ八日生

右の者に教育職員免許法第五条
の定めるところにより左記の教
科について中学校教諭一級普通
免許状を授与する

記

教科 外国語(英語)

昭和五十二年 三月二十日

東京都教育委員会

昭五二中一普第二六三三三号



授与条件

教育職員免許法第5条別表第1

基礎資格等

昭和52年3月25日		帝京大学文学士	
昭和 年 月 日から	大学前課生在籍	昭和 年 月 日から	大学
昭和 年 月 日まで		昭和 年 月 日まで	

修得単位

総数	一般教育	教職専門	教科専門	その他
206	26	26	28	106

教育職員免許法第15条による書換

異動年月日

異動事由

新本籍

新氏名

昭和 年 月 日

東京都教育委員会

教育実習日誌

自昭和51年11月4日

至昭和51年11月17日

実習校	東京 ^都 府県	私立	東京大学高等学校
実習教科	英語	学校長名	沖永嘉計
		指導教諭名	佐々木先生

教育学科 (L8393)



氏名	レ クオン LE CUONG
----	-------------------

受験番号 63

合 格 証

大学院文学研究科^{博士}課程^{修士} 仏教学専攻 第1学年

氏名 レ、クオン

貴君は大学院入学試験に合格と決定したことを証する

昭和五十二年一月二十七日

立正大学長 菅 谷 正



昭和52年度

目標範囲 8

立正大学大学院入学試験要項

1 募集人員

博士後期課程

文学研究科 仏 教 学 専 攻 3名 地 理 学 専 攻 3名
英 文 学 専 攻 2名 社 会 学 専 攻 2名

修士課程

文学研究科 仏 教 学 専 攻 10名 地 理 学 専 攻 10名
英 文 学 専 攻 10名 社 会 学 専 攻 10名
国 文 学 専 攻 10名 哲 学 専 攻 6名
史 学 専 攻 10名

2 受験資格

博士後期課程

1. 修士の学位を有するもの
2. 外国において、修士の学位またはこれに相当する学位を得た者

修士課程

1. 学校教育法第52条に定める大学を卒業した者および昭和52年3月卒業見込みの者
2. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
3. 本大学院において、学校教育法第52条に定める大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

3 出願期間

昭和52年1月6日～昭和52年1月14日

受付時間：午前10時より午後4時まで（但し土曜日、日曜日は受け付けない）

4 試験日

昭和52年1月19日（水）

5 出願手続

以下を一括して提出すること（郵便でもよい）不備の場合は受け付けない

1. 入学志願票（本学所定用紙）
2. 健康診断書（本学所定用紙）
3. 出身大学単位成績証明書（博士後期課程志願者は出身大学院単位成績証明書）
4. 出身大学卒業または卒業見込証明書（博士後期課程志願者は出身大学院修士課程修了または修了見込証明書）
5. 写真2枚（志願票のA・C票に貼付すること）
6. 入学検定料 10,000円

6 試験科目

博士後期課程

1. 専門科目（専攻しようとする科目について行なう）
2. 外国語 仏教学専攻は、英・独・仏語のうちから1ヵ国語および梵語の2ヵ国語
地理学専攻・社会学専攻は英・独・仏語のうちから2ヵ国語
英文学専攻は独・仏語のうちから1ヵ国語および英語の2ヵ国語
（入学志願票のA・C票に選択科目を表示すること）

修士課程

1. 専門科目（専攻しようとする科目について行なう）
2. 外国語（英・独・仏語のうち1ヵ国語を選択、但し英文学専攻のみ英語）

7 口頭試問

博士後期課程・修士課程とも筆記試験終了後各専攻別に行なう

8 合格発表

原則として2週間以内に郵便通知する

9 注意事項

1. 試験は10時開始であるので開始10分前迄に掲示にしたがい控室へはいること
2. 筆記試験および口頭試問の際には必ず受験票を提示すること
3. 一旦納入した学費および提出した書類は、理由の如何にかかわらず返却しない
4. 試験当日は、交通スト・悪天候などにかかわらず時間通りに実施する。
5. 入学試験に関する問い合わせは本学広報課大学院入試係宛とする

10 入学手続

合格者は合格発表から原則として7日以内に入学手続を完了しなければならない

必要書類

1. 誓約書・保証書（所定用紙）
2. 学籍原簿・学生身上調書（所定用紙）
3. 学籍カード（所定用紙）
4. 戸籍抄本
（外国人の場合は「外国人登録済証明書」）
5. 学費領収票（手続後返却）
6. 写真3枚（4cm×4cm）
（スピード写真は不可）
7. 合格証

11 学 費

	入学金	授業料	施設整備資金	暖房料	研究料	合計
博士後期課程	120,000	220,000	60,000	2,000	2,000	404,000
修士課程						110,000 20,000 267,000

（備考）次年度より年間学費は254,000円となる

立正大学大学院開設講義一覽

博士後期課程

博士後期課程の学生は、その所属する専攻におけるそれぞれの研究分野の博士課程の指導教授について少なくとも週1回研究指導を受けるものとする。

修士課程

仏教専攻

宗学特講	(一)(4)	講	師	茂田	井	教	亨	仏教	演習	(二)(4)	文	博	教	授	未	定
宗学特講	(二)(4)	文	博	教授	井	内	道	教	習	(三)(4)	文	博	教	授	中	隆
宗学演習	(一)(4)	文	博	教授	井	田	陽	史	講	(四)(4)	文	博	教	野	村	彦
宗学演習	(二)(4)	文	博	教授	未	宮	定	史	特講	(4)	文	博	教	塚	實	龍
宗史特講	(一)(4)	文	博	教授	宮	崎	修	史	演習	(4)	文	博	教	本	村	啓
宗史演習	(二)(4)	文	博	教授	宮	崎	修	史	特講	(4)	文	博	教	本	本	誠
仏教特講	(4)	文	博	教授	中	崎	修	東	特講	(4)	文	博	教	松	島	宗
仏教演習	(一)(4)	文	博	教授	藤	村	隆	宗	特講	(4)	文	博	教	飯	平	享
仏教演習	(二)(4)	文	博	教授	村	品	静	仏	特講	(4)	文	博	教	飯	平	享

地理学専攻

地誌学研究法	(4)	理	博	教授	尾留	川	正	自然地理学	研究法	(4)	理	博	教	授	未	定
地誌学特講	(4)	理	博	教授	尾留	川	正	自然地理学	特講	(4)	理	博	教	授	未	定
地誌学演習	(一)(2)	理	博	教授	尾留	川	正	自然地理学	演習	(一)(2)	理	博	教	授	未	定
地誌学演習	(二)(2)	理	博	教授	尾留	川	正	自然地理学	演習	(二)(2)	理	博	教	授	未	定
人文地理学研究法	(4)	理	博	教授	岸	本	実	地誌学	野外研究	(2)	理	博	教	授	尾留	正
人文地理学特講	(4)	理	博	教授	岸	本	実	人文地理学	野外研究	(2)	理	博	教	授	岸	本
人文地理学演習	(一)(2)	理	博	教授	岸	本	実	人文地理学	野外研究	(2)	理	博	教	授	岸	本
人文地理学演習	(二)(2)	理	博	教授	岸	本	実	自然地理学	野外研究	(2)	理	博	教	授	未	定

英文学専攻

英文学研究方法論	(4)	文	博	教授	佐	順	夫	米文学	演習	(一)(4)	文	博	教	授	北	川	俣	二
英語学	(4)	文	博	教授	前	儀	一郎	米文学	演習	(二)(4)	文	博	教	師	鈴	木	幸	夫
英文学特殊研究	(一)(4)	文	博	教授	倉	俊	三	英文学	演習	(4)	文	博	教	師	前	島	儀	一
英文学特殊研究	(二)(4)	文	博	教授	未	芳	材	シェイクスピア研究	(4)	文	博	教	師	大	島	芳	材	夫
英文学特殊研究	(三)(4)	文	博	教授	大	能	弘	現代英文学	(4)	文	博	教	師	鈴	木	幸	材	夫
米文学特殊研究	(4)	文	博	教授	鍋	能	三	西洋古典文学	(4)	文	博	教	師	大	島	幸	材	夫
米文学演習	(一)(4)	文	博	教授	倉	俊	定	英文作法	(2)	文	博	教	師	大	島	幸	材	夫
米文学演習	(二)(4)	文	博	教授	未	俊	定	英文ラテン語	(2)	文	博	教	師	大	島	幸	材	夫
米文学演習	(三)(4)	文	博	教授	未	俊	定	ギリシャ語	(2)	文	博	教	師	大	島	幸	材	夫

社会学専攻

理論社会学特講	(4)	文	博	教授	未	定	宗教社会学	特講	(4)	文	博	教	授	沼	義	昭
理論社会学演習	(4)	文	博	教授	未	定	宗教社会学	演習	(4)	文	博	教	授	沼	義	昭
文化社会学特講	(4)	文	博	教授	山	室	地域社会学	特講	(4)	文	博	教	授	未	室	周
文化社会学演習	(4)	文	博	教授	山	友	地域社会学	演習	(4)	文	博	教	授	未	室	周
社会福祉学特講	(4)	文	博	教授	三	雅	集	団社会学	特講	(4)	文	博	教	授	田	不
社会福祉学演習	(4)	文	博	教授	三	雅	集	団社会学	演習	(4)	文	博	教	授	田	不
社会福祉学方法論特講	(4)	文	博	教授	田	代	社会心理学	特講	(4)	文	博	教	授	佐	代	男
社会福祉学方法論演習	(4)	文	博	教授	森	水	社会心理学	演習	(4)	文	博	教	授	佐	代	男

国文学専攻

国文学	特講	(1)(4)	文	博	教授	橋下	龍馬
国文学	講義	(2)(4)			教授	橋下	龍馬
国文学	特講	(3)(4)			教授	橋下	龍馬
国文学	特講	(4)(4)			教授	橋下	龍馬
国文学	特講	(1)(4)	文	博	教授	橋下	龍馬
国文学	特講	(2)(4)			教授	橋下	龍馬

国文学	特講	(1)(4)			教授	橋下	龍馬
国文学	特講	(2)(4)			教授	橋下	龍馬
国文学	特講	(3)(4)			教授	橋下	龍馬
国文学	特講	(4)(4)			教授	橋下	龍馬
国文学	特講	(1)(4)			教授	橋下	龍馬
国文学	特講	(2)(4)			教授	橋下	龍馬

哲学専攻

西洋哲学	特講	(1)(4)			講師	藤石	実三
西洋哲学	特講	(2)(4)			講師	藤石	実三
西洋哲学	特講	(3)(4)			講師	藤石	実三
西洋哲学	特講	(4)(4)			講師	藤石	実三
西洋哲学	特講	(1)(4)			講師	藤石	実三
西洋哲学	特講	(2)(4)			講師	藤石	実三

西洋哲学	特講	(1)(4)			講師	藤石	実三
西洋哲学	特講	(2)(4)			講師	藤石	実三
西洋哲学	特講	(3)(4)			講師	藤石	実三
西洋哲学	特講	(4)(4)			講師	藤石	実三
西洋哲学	特講	(1)(4)			講師	藤石	実三
西洋哲学	特講	(2)(4)			講師	藤石	実三

史学専攻

日本史	特講	(1)(4)	文	博	教授	北條	元行
日本史	特講	(2)(4)			教授	北條	元行
日本史	特講	(3)(4)			教授	北條	元行
日本史	特講	(4)(4)			教授	北條	元行
日本史	特講	(1)(2)	文	博	教授	北條	元行
日本史	特講	(2)(2)			教授	北條	元行
日本史	特講	(3)(2)			教授	北條	元行
日本史	特講	(4)(2)			教授	北條	元行
日本史	特講	(1)(4)			教授	北條	元行
日本史	特講	(2)(4)			教授	北條	元行
日本史	特講	(3)(4)			教授	北條	元行
日本史	特講	(4)(4)			教授	北條	元行
日本史	特講	(1)(2)	文	博	教授	北條	元行
日本史	特講	(2)(2)			教授	北條	元行
日本史	特講	(3)(2)			教授	北條	元行
日本史	特講	(4)(2)			教授	北條	元行

日本史	特講	(1)(4)			教授	北條	元行
日本史	特講	(2)(4)			教授	北條	元行
日本史	特講	(3)(4)			教授	北條	元行
日本史	特講	(4)(4)			教授	北條	元行
日本史	特講	(1)(2)			教授	北條	元行
日本史	特講	(2)(2)			教授	北條	元行
日本史	特講	(3)(2)			教授	北條	元行
日本史	特講	(4)(2)			教授	北條	元行
日本史	特講	(1)(4)			教授	北條	元行
日本史	特講	(2)(4)			教授	北條	元行
日本史	特講	(3)(4)			教授	北條	元行
日本史	特講	(4)(4)			教授	北條	元行
日本史	特講	(1)(2)			教授	北條	元行
日本史	特講	(2)(2)			教授	北條	元行
日本史	特講	(3)(2)			教授	北條	元行
日本史	特講	(4)(2)			教授	北條	元行

()内の算用数字は単位を示す

- 本要項中の開設科目は昭和52年度開設予定の科目であるが、一部変更される場合もある。
- 現在、大学院文学研究科史学専攻博士後期課程を申請中であり、認可になり次第学生募集を行う予定である。

東京都品川区大崎4の2の16

立正大学大学院

電話(492)6611(代)

昭和52年度

大学院

学 生 要 覧

立 正 大 学

卒業証書

ヴェトナム

レクオン

昭和二十四年六月二十六日生



本学文学部教育学科所定の
課程を修めたのでここに卒業
証書を授与し文学士と称する
ことを認める

昭和五十二年三月二十五日

帝京大学長医学博士

冲永莊一



文学証第五三三号